うつのみや 宇都宮レポート

日本共産党北区議会議員・宇都宮 章
事務所 北区神谷 2-9-10
電話 3598-2683 携帯 090-4127-7550
お気軽にご相談ください

２０１６年3月号

区議会本会議二月二五日
宇都宮章区議個人質問

質問する宇都宮区議

質問内容（要旨）
理事者答弁（要旨）
赤字質問の柱・青字質問・黒字理事者答弁

1、コミュニティーソーシャルワーカー（以下CSW）活動の位置づけと活動の展開について

①神谷、東十条地域での（CSW）の活動内容と当面の目標、期間。

（答弁）3年間のモデル配置期間なので評価・検証して、まずは積極的に地域に出向き地域住民と顔の見える関係を築いていくことが当面の目標です。

②地元のみなさんとの協力ほかの専門職との連携、区内への展開など今後の方向性。

（答弁）配置から1年近くが経過し、（CSW）と地域との連携が進んでいると考えています。

③無料ないし低料金で使用できる活動の拠点、居場所づくりには区の支援が不可欠と考えますがいかがでしょうか。

（答弁）地域の方が活動できる活動拠点は活動を促進する観点から大切であると考えている。区施設の活用は状況を見ながらの研究課題と考えます。

2、地域見守り・支えあい活動促進補助事業の4年間の総括と適切な継続支援を求める

①3年を経た取り組み状況、見守りの対象者の広がりなどこの事業の総括について。

（答弁）町会・自治会による自主的な地域の見守り活動の輪が広がり見守り体制の連帯強化が進んだと評価しています。

②活動が継続、発展している町会自治会の活動交流、助成金を含めて今後の適切な支援の必要性について

（答弁）活動を継続していただくため4年目と同額の補助を行う予定です。

③新たに取り組む町会自治会に対する活動への丁寧な支援の重要性について、お答えください。

（答弁）引き続き町会・自治会の自主的活動の輪が広がるよう支援し、見守り体制の強化を図ります。

3、6年目を迎える住まい改修（住宅リフォーム助成）について

①住まい改修支援事業のこの5年間の予定軒数と実績軒数、一件当たりの平均助成額と助成総額、平均工事額と工事総額、これらから推定される経済効果について。

（答弁）5年間で予定軒数は1100軒で、実績軒数は1074軒です。1件当たりの平均助成額は約8万8000円、助成総額は9470万円、平均工事額は104万円です。工事総額は11億1661万円になり、単純に助成総額の約12倍になります。

②子育て世代、多子世帯への助成率改善、1年後の2回目申請など制度の拡充改善について。

（答弁）現時点では助成制度の上乗せや再申請の受付などは検討していない。

③店舗・商店リニューアル助成制度の創設を求めます。お答えください。

（答弁）一つのご提案と受け止め現時点での助成は考えておりません。

4、王子5丁目大型店舗（スーパーサミット）出店についてその影響と区の姿勢を問う

①近隣商店街に及ぼす影響について区の認識、対応、対策について。

（答弁）近隣商店街等の意見に配慮するよう事業者に求めます。

②工事車両の出入り、駐車台数110台の駐車場、200台の駐輪場を備えた店舗完成後、安全な通行への影響と対策について。

（答弁）警察等関係機関とともに、事業者に対し通行の安全に十分配慮するよう求めます。

③桜並木と散策のネットワークへの影響、引込線の緑道化の問題についてJR貨物と交渉中と伺っていますが、その後の進捗に付いて。

（答弁）新たに桜を捕植するなど、桜並木の保全等について事業者に必要な申し入れを行う。用地取得に向けJR貨物と協議を継続します。

5、民間マンションに併設された区民施設の利活用に付いて

①民間マンションに併設された区民施設の箇所数とその経緯と、当初の使用目的について。

（答弁）併設された公共施設は保育園、児童館、図書館など、区内に10か所あります。

②経年による改修・耐震対策、用途変更、などの現況について。

（答弁）耐震対策は区も管理組合の決定に沿って対応する。使用目的を変更した施設は5か所。

③併設区民施設の区の位置づけと対応について。

（答弁）用途の変更に当たってはマンション管理組合と検討段階において協議を行う。